

施策推進部会について

1 設立趣旨

地域における障害者等への支援体制に関する課題を整理し、社会資源を活用する方法や連携についての仕組みづくり等を協議する。

2 部会員構成

別紙のとおり

3 令和元年度の取り組み

- ① 令和元年度については、委員改選に伴い新規委員の委嘱、部会長及び副部会長の選出。委員委嘱後の開催ということもあり、障害者地域生活支援協議会および施策推進部会の説明を実施した。
- ② 報告事項として、5つの分科会より平成30年度の事業報告および令和元年度の事業計画を説明。
- ③ 協議事項としては2つあり、1つ目が、相談分科会より「相談支援専門員のスキルアップを図るため外部講師による勉強会実施」について協議。
2つめが、相談分科会より「久留米市版ヘルプカードの実施に向けた途中経過」を協議した。

開催日	協議事項等
R1.10.4（金）	1 委嘱状交付（R1年度～R2年度）改選 ・会長、副会長の選出 2 報告事項 ・障害者地域生活支援協議会・施策推進部会について ・各分科会の事業報告及び事業計画について 3 協議事項 ・相談分科会勉強会について ・相談分科会ヘルプカード作成に関する経過報告

- ④ 年度末に新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各分科会とも2月～3月の分科会や勉強会の開催を中止。
- ⑤ 令和元年度の各分科会の取り組みについては以下の【各分科会】表のとおり。

【各分科会】：開催期間（平成31年4月～令和2年3月）

	開催回数	協議事項等	主な分科会員構成
こども分科会	9回 （新型コロナ	1.障害児に対する支援体制の課題・対応策について協議	・障害児サービス事業所

	ナ感染拡大の影響により2回中止)	<p>①障害児支援団体と共に、子どもにとって支援となる社会資源マップの作成（荒木校区）。</p> <p>②障害児に係る行政機関(市)との情報連携、課題共有。</p>	<p>・教育関係機関</p> <p>・障害児支援団体等</p>
おとな分科会	5回 別途、 ・一般就労に関するアンケートについて協議 21回	<p>1.障害者に対する支援体制の課題・対応策について協議</p> <p>①久留米市における一般就労に関するアンケートを実施。 ・アンケートの対象者は、障害者就労系事業所を利用し、一般就労をしていない方。回答数は539件。</p> <p>②市、久留米市雇用・就労推進協議会主催の雇用促進セミナーに係る広報について分科会で協議（6回）。</p> <p>③就労継続支援A型事業所勉強会の実施について協議（19回）。 ・勉強会の内容は、市内A型事業所より一般就労へ送り出す支援方法の報告など ・新型コロナ感染拡大防止のため、勉強会の実施を中止した。</p>	<p>・障害福祉サービス事業所</p> <p>・就労関係機関</p>
当事者分科会	5回	<p>1.当事者から見た支援のあり方について</p> <p>①防災対策課、地域福祉課等と支援方法や防災のあり方、啓発の必要性について協議</p> <p>2.久留米市基幹相談支援センター機関誌(R2.2月)に「当事者分科会特集」として、分科会の取り組み等を発行。</p>	<p>・身体障害者</p> <p>・知的障害者</p> <p>・精神障害者</p>
重心分科会	2回 ・別途、避難訓練検討会議6回	<p>1.医ケアを含む重症心身障害児・者へのサービス提供「事業所」に対する実態調査実施し、集計結果の報告。</p> <p>2.在宅の医ケアが必要な障害者における災害時での避難について、ワーキンググループを立ち上げ。</p> <p>①当事者、地域の方、かかりつけ医、基幹等と実際に避難訓練を実施。</p>	<p>・重心向けサービス事業所</p>

		②災害時の連絡網作成、関係機関の役割の検討や課題の抽出を行った。	
相談分科会	10回 (新型コロナ感染拡大の影響により1回中止)	1.相談支援専門員のスキルアップを目指し、以下のテーマで研修を実施。 ①災害対策について ②倫理や価値に立脚した相談支援の強化(久留米大学教授による講義「ケースメソッド」「アセスメント」について) ③対人援助におけるコミュニケーションスキル (九州大谷短期大学教授による講義) 2.各エリアに分かれての実践研究会(事例検討)の実施。	・相談支援事業所

4 令和2年度協議事項及びスケジュール(案)

- ① 施策推進部会については、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえ、集合開催に限らず書面開催など含め、年1回ほど実施予定。
- ② 部会の協議事項としては、各部会からの施策提案について検討を行う予定。
- ③ 各分科会については、開催方針として、「コロナ禍において協議する事項(支援策、防災)」がある場合のみ実施予定。開催方法は、集合開催に限らず書面開催など含め開催を予定している。
- ④ 各分科会の今年度の取り組みについては、以下【各分科会】のとおり。

協議事項

- ①各分科会の事業報告及び事業計画について
- ②各分科会からの施策提案についての検討

スケジュール

10月頃に書面にて開催し、協議を行う予定。

【各分科会】

	スケジュール	協議事項等
こども分科会	予定：年4回	1.障害児に対する支援体制の課題・対応策について協議予定

		<p>①地域ケース会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ禍や災害時における障害児に対する支援について、事例を通して地域の方々（民生委員、校区コミュニティ等）と協議予定。 ・地域の方々と協議を行うことで、障害児が地域で安心して生活できる仕組みを構築予定。
おとな分科会	予定：奇数月 （回数は未定）	<p>1.障害者に対する支援体制の課題・対応策について協議予定</p> <p>①アンケート（障害者の一般就労に向けた）の分析やまとめを行い、事業所へフィードバックを予定。</p> <p>②就労継続支援 A 型事業所勉強会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した勉強会の実施に向け、今年度開催に向け協議 <p>③市、久留米市雇用・就労推進協議会が主催の障害者雇用セミナーへの参画</p> <p>④在宅就労・在宅支援の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と基幹相談支援センターが共同で行った新型コロナウイルス感染症対策調査の分析し、在宅就労等の検討を行う。
当事者分科会	予定：なし	<p>1.新型コロナウイルス感染防止の観点から、バリアフリーカフェの活動については中止の予定。</p>
重心分科会	予定回数は未定	<p>主に、次の 4 事業を行う予定。</p> <p>1.重心心身障害児者連携会議への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携会議で検討する地域課題について、分科会として協力できることを確認する <p>2.災害時の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所と連携を図りながら、避難訓練実施に向け課題を整理し、地域課題として取り組む <p>3.避難訓練検討会議での課題整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度行った個別ケースを整理することで関係機関の役割について検討を行う
相談分科会	予定：隔月実施	<p>相談支援専門員のスキルアップを目指し、以下を実施予定。</p>

		<p>1.研修会・意見交換会</p> <ul style="list-style-type: none">・内容については、新型コロナウイルス感染防止や災害等、相談支援専門員の関心の高いテーマを取り上げ、検討予定 <p>2.実践研究会</p> <ul style="list-style-type: none">・各エリアに分かれての実践研究会を実施予定
--	--	---